

## <報道発表資料>

平成22年 3月23日

# バイパス整備事業

### 国道254号和光富士見バイパス（第一期整備区間）が開通 — 平成22年4月24日（土）16時 —

国道254号和光富士見バイパス（第一期整備区間）が、平成22年4月24日（土）16時に暫定2車線で開通します。

昭和59年度からこのバイパスの整備に着手し、整備効果を早期に発現するために、整備区間を第一期・第二期に分けて整備を進めてきました。このたび、東京外かく環状道路（外かん）から県道朝霞蕨線までの第一期整備区間2.6kmが暫定2車線で開通します。

これにより、外かんと県道朝霞蕨線がバイパスでつながり、外かんへのアクセス強化や花の木交差点の渋滞緩和等、地域の利便性ならびに安全性が大きく向上します。（並行する県道朝霞蕨線及び朝霞市道22号線を経由するルートと比べて、混雑時の走行時間は約10分短縮）

なお、バイパスの開通を記念して、同日11時から開通記念式典を行います。

## 1. 事業の背景

国道254号和光富士見バイパスは、富士見川越バイパス（旧「富士見川越有料道路」で平成21年8月に無料開放）とともに、交通渋滞の解消、及び東京都と川越地域との連携強化を目的に計画された道路です。

このバイパス区間に相当する国道254号では、朝霞市内の「税大研修所前交差点」や新座市内の「野火止交差点」などにおいて、慢性的な交通渋滞が発生しており、沿道環境の悪化を招いています。

本バイパスの全線整備によりこの交通渋滞を緩和し、円滑で安心・安全な交通が確保されるとともに、外かんへのアクセスが強化されるなど、県南西部地域をはじめとする広域的な地域の産業経済の発展が期待されます。

## 2. 事業概要

### 【和光富士見バイパス】

延長 6.9 k m

幅員 36.0 ～ 42.0 m 車道 4 車線 両側歩道 (幅員 3.5 m)

事業着手年度 昭和 59 年度

総事業費 約 600 億円

### 【今回開通する第一期整備区間】

延長 2.6 k m (このうち 0.6 k m は平成 4 年度に開通) 暫定 2 車線

開通に要した事業費 約 140 億円

## 3. 開通記念式典

日時：平成 22 年 4 月 24 日 (土) 11 時～12 時

場所：国道 254 号和光富士見バイパス 道路内

内容：埼玉県知事出席のもと、次の次第で執り行います。

式辞、工事経過報告、感謝状贈呈、祝辞、テープカット、祝賀パレードなど

詳細は下記の URL 『埼玉県の道路』のページにある『新着情報』を参照してください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/I04/>



ふじみ野方面に向かう  
野火止交差点付近の渋滞状況



朝霞大橋の整備状況

位置図

